

第1回日・中・韓気象学会共催の国際シンポジウム 「東アジアにおける大気科学」のお知らせ

標記国際シンポジウムを、春季大会の直前の2005年5月13～14日に東京大学山上会館、ならびに、新装成った理学部1号館内の小柴ホールにて行います。

このシンポジウムの趣旨は1)アジアモンスーン及び東アジアにおけるメソ気象現象と季節予報、2)東アジアにおける大気化学(大気汚染)とその気候・生

態影響(放射・植生影響)について最近の研究の動向を紹介し、今後の研究協力・研究推進について議論し相互理解を深めることにあります。

プログラムの概略は、以下の通りです。ぜひ、ご参加ください。詳しくは、気象学会のホームページ(<http://www.soc.nii.ac.jp/msj/>)を参照して下さい。

プログラム

	山上会館	小柴ホール
5月13日(金)		
09:30～10:00	開会式	
10:00～11:00	Daniel J. Jacob (Harvard Univ.): Intercontinental influences on aerosol and ozone air quality	
11:00～12:00	Tetsuzo Yasunari (Nagoya Univ.): Role of Tibetan Plateau and land surface processes on East Asian monsoon variability—An overview of GAME sciences	
13:30～	セッション2:次世代モデル	
15:20～	セッション3:長期予報	セッション4:大気化学・大気汚染
18:00～	レセプション(無料)	
5月14日(土)		
09:00～	セッション5:メソ気象	セッション6:大気化学・大気汚染
13:30～	セッション7:アジアモンスーン	セッション8:エアロゾル・放射



「第1回 気象庁数値モデル研究会」開催のお知らせ

気象学の分野で用いられているさまざまな数値モデルに関する情報交換の場として、今年度から新たに「気象庁数値モデル研究会」を開催します。

これまで気象庁では、大学等の国内の研究・教育機関と連携し、数値モデルの利用促進と技術開発の進展を図るため、気象庁が保有する数値モデルを一定の条件のもとに公開するとともに、気象庁の数値モデルに

についての紹介や情報提供及びモデル利用者との情報交換を行うことを目的として「気象庁モデルフォーラム」を開催してきました。

今後は、先導的なモデル開発や研究をより一層推進するため、気象庁と国内の研究・教育機関等との間で最新のモデル研究・技術課題に焦点をあてた情報交換を行う場として、「気象庁数値モデル研究会」を設け、

今年度は下記のとおり開催することといたしました。モデル開発やモデルを用いた研究に興味のある方々の参加をお待ちしています。講演内容等のプログラムについては、後日、ホームページ (<http://pfi.kishou.go.jp>) にてお知らせいたします。

記

日時：2005年5月15日（日）18：15-20：15
（シンポジウム終了後）

場所：2005年度日本気象学会春季大会 D 会場
（山上会館 2 F 大会議室）

話題：「全球モデル開発」

参加費：無料

問い合わせ先：

気象庁予報部数値予報課 山田 芳則

Tel：03-3212-8341（内線3305）

E-mail：yyamada@naps.kishou.go.jp



教員（名古屋大学大学院環境学研究科地球環境科学専攻）公募のお知らせ

本専攻では、下記の要領により教授または助教授を公募いたします。

記

1. 職種・人員：名古屋大学大学院環境学研究科
地球環境科学専攻気候科学講座
教授または助教授・1名

2. 応募資格：

- (1) 気候と大気圏における物質循環との関係にかかわる研究を行えること
- (2) 大学院生・学部学生の教育に熱意を持ち、気候科学関連の授業を担当できること
- (3) 地球環境科学の広い分野に興味と見識を持つこと

3. 着任時期：2006年4月1日以降なるべく早い時期

4. 応募書類：

- (1) 履歴書（国内外の学会活動、受賞歴、授業の経歴など、参考になる事項を含むこと）
- (2) これまでの研究の概要（2000字程度）
- (3) 今後の教育・研究の計画と抱負（2000字程度）
- (4) 研究業績リスト（和文のものは和文で表記すること）

A. 査読のある原著論文

B. 査読のない論文

C. 総説（査読の有無を記すこと）

D. 著書

E. 解説、報告などで特に参考になるもの

(5) 主な論文の別刷り3編程度（複写可）

(6) 応募者に関する所見をうかがえる方2名の氏名と連絡先

5. 応募締切：2005年8月31日（必着）

封筒の表に「教員応募（地球環境科学専攻・気候科学講座）書類在中」と朱書きし、簡易書留にて郵送すること

6. 書類の送付先及び問い合わせ先：

神沢 博

気候科学講座教員選考委員会委員長

名古屋大学大学院環境学研究科

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

Tel：052-789-3482, Fax：052-789-3436

E-mail：kanzawa@nagoya-u.jp

当研究科の概要についてはホームページ

<http://www.env.nagoya-u.ac.jp/> をご覧下さい